

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成22年6月18日（金）

研究課題	甲府盆地飲用地下水を中心とする水質特性の時系列解析および新規地下水調査	
研究期間	平成19年度～21年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	3.8
	2 目標の達成度	3.8
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	3.6
	4 今後の発展性	3.6
	5 総合評点	3.8
<p>甲府盆地地下水に関し、既存の井戸データを基に時間・空間的に解析した。時系列面からは、硝酸性窒素の減少傾向を見だし甲府盆地の耕作面積減少との関連を指摘し、また空間的検討からは、井戸分布が相対的に乏しい盆地北部域において新規地下水探査によって、有望な地下水分布域を把握できた点などが評価できる。</p> <p>今後は、地下水のデータベースを集積することにより、環境政策に寄与する提案も必要であろう。</p> <p>また、地下水中の硝酸性窒素の除去の方法も水循環システムを考慮して検討することも必要だろう。</p>		